

いわた IWATA 市議会だより

平成27年
2015
12月1日発行
No.53

発行／磐田市議会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>
編集／市議会広報広聴委員会 電話(0538)37-4822 ファックス(0538)37-4845 (議会事務局)



～今までも、これからもずっと磐田～

平成17年に1市3町1村が合併して誕生した新「磐田市」の市制施行10周年記念式典が、11月8日（日）に市民文化会館で盛大に開催されました。

式典は、豊岡Jrマーチングバンドの演奏で幕を開け、市の発展などにご尽力いただいた方々の表彰のほか、園児によるしっぺいダンスや磐田市歌の合唱が行われるなど、10周年の節目を祝うとともに、さらなる市の発展・飛躍を誓いました。

9月定例会

市議会は、平成27年9月定例会を9月8日から10月13日までの36日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の平成26年度各会計決算や平成27年度一般会計補正予算など23議案について慎重に審議しました。その結果、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

なお、一般質問は、9月16日から18日までの3日間にわたり16名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをたどりました。

主な内容 (ページ)

- 各会計決算（説明、討論）……………2～4
- 議員研修会、委員会視察……………4
- 一般質問（16名）……………5～11
- 議会報告会……………11
- 意見箱の設置、市議会フェイスブック、審議結果など……………12

本会議・委員会で活発な議論

「予算に基づき施策を実行した」と評価の声がある一方、「貴重な税金は市民生活向上に優先すべき」との意見も

26年度
各会計決算を
認定

26年度一般会計決算を認定

決算額は、歳入626億6155万8千円で前年度対比3・3%の増、歳出600億1940万9千円で前年度対比1・9%の増となり、歳入歳出差引額26億4214万9千円のうち、11億円を財政調整基金に積み立てました。

歳入のうち、主要な科目の市税は、市民税が経済情勢の向上等により増額になるなど、全体では前年度対比4・1%増の281億3450万1千円となりました。地方交付税は、前年度対比3・9%減の72億722万4千円、寄附金は25年度に引き続き、ふるさと納税寄附金が大幅に増加したことにより、前年度対比107・8%増の2億2369万5千円、市債は、臨時財政対策債の借入れを抑えたことにより、前年度対比22・2%減の40億1098万7千円となりました。

整備等を実施しました。産業の活性化対策としては、新東名磐田スマートインターチェンジ設置に係る用地測量等に加え、福田漁港の食の拠点施設の基本設計、実施設計を行いました。将来を担う子どもたちへの支援では、小中学生の通院医療費の助成を時間外診療まで拡大したほか、こども憲章の策定や福田こども園の建設等を実施しました。地域福祉・支え合いの推進としては、障害者福祉施設への通所費用の助成を初め、ひとり親家庭への延長保育事業等を行いました。公共施設の見直しでは、竜洋体育センターの建設やコミュニティ消防セン

ターの整備に取り組みました。合併10周年に向けた環境づくりとしては、市民のさらなる一体感の醸成や市のPRのため、市歌の制定や原付オリジナルナンバープレートの作製に取り組みとともに、公園照明灯のLED化などを進めました。

賛成21(志・新・き・公)、
反対3(共)により認定。

【反対(共)】反対の主な理由を述べる。①使用料・手数料に消費税が転嫁されており、上乘せすべきではない②保護者や地域住民が合意していない中、

豊岡東小と豊岡北小の統合が進められた③小中一貫教育の施策のもと、施設分離型から一体型にしようとしているが、一体校ありきの進め方は問題④公務公共分野の非正規雇用が拡大

貴重な税金は市民生活向上に優先を

されているが、市民の命を守る福祉・防災、子どもたちの保育・教育のためには正規雇用の確保が必要⑤財政調整基金を85億円としたが、市民の貴重な税金は市民生活向上のために優先して使うべきである。こども医療費助成の拡充や障害者福祉施設通所費助成事業の実施については評価するが、以上により反対する。

討 論

【賛成(新)】予算に基づいた施策を実行するとともに、財政健全化を進めることができた。

消費税増税は社会保障費の維持のためやむを得ない。豊岡東小と北小の統合は、統合準備委員会等で協議を重ねた結果であり、複式学級解消のためによりよい選択である。小中一貫教育の一体校整備構想は、建設費を低く抑

予算に基づいた施策と財政健全化を実現

え、また、今後の社会背景に沿ったものであり、慎重かつ着実に実行すべきである。市職員の正規雇用の割合は増やす必要があるが、長期的視点に立った検証等が必要である。財政調整基金残高は、文化会館施設整備等を控える中での85億円であり、決して多い額ではない。以上により賛成する。

26年度 各会計決算

一般会計

会計名	歳入	歳出
一般会計	626億6,155万8千円	600億1,940万9千円

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業会計	182億5,435万7千円	173億7,345万1千円
後期高齢者医療事業会計	14億5,001万3千円	14億4,625万0千円
介護保険事業会計	108億6,225万2千円	106億6,220万4千円
農業集落排水事業会計	1億7,091万1千円	1億6,693万5千円
公共下水道事業会計	61億1,348万5千円	60億1,406万3千円
その他の特別会計※	8,352万6千円	8,221万2千円

※その他の特別会計には、公平委員会、駐車場事業、4財産区の各特別会計の合計額を記載しています。

企業会計

(税込み)

会計名	収入	支出	
水道事業会計	収益的収支	27億9,271万8千円	25億5,700万0千円
	資本的収支	6億5,772万4千円	14億7,970万7千円
病院事業会計	収益的収支	145億8,889万3千円	156億6,636万6千円
	資本的収支	12億9,728万9千円	21億6,669万7千円

収益的収支…収益的収入は、水道事業の水道料収入、病院事業の入院・外来の診療収入などをいいます。

収益的支出は、職員給与や材料費、光熱水費などをいいます。

資本的収支…主に施設を整備・拡充するために必要な経費と財源をいいます。

国民健康保険事業 特別会計決算

決算額は、歳入が182億5435万7344円、歳出が173億7345万1302円、歳入歳出差引額は8億8090万6042円となり、このうち4億7千万円を国民健康保険給付等支払準備基金に積み立てました。

市民の健康の維持増進、疾病予防及び早期発見の促進、保険給付の対象となる療養の範囲の適正化、保険税負担の公平の確保、保険財政基盤の安定化等を目的に事業を実施しました。

賛成21(志・新・き・公)、
反対3(共)により認定。

討論

国庫負担増を求めるべき

反対(共) 滞納世帯のうち

本来の保険証でない世帯が1255世帯あることは問題である。納められるよう国保税を引き下げる必要がある。また、軽減世帯が増えていることは、国保税の負担が大きいことを意味する。一方、実質収支額が合併後2番目に多い

額となっており、国保税の引き下げは可能だったと考える。さらに、給付等支払準備基金の当初取り崩し額を増やし、独自繰り入れを減らしたことは問題である。

最後に、国の負担が減り、国保加入者等の負担が増えていく。国に、国庫負担を増やすよう強く求めるべきである。以上により、反対する。

健康長寿の進展に注力

賛成(志) 歳入合計に対する保険税収入の割合が減少する中、法定外の一般会計繰入金を3億円計上し、公的皆保険制度としての収入・支出バランスを取ることに努めた。給付等支払準備基金残高5億5999万7千円も、30年度の県への制度移行を考慮すると妥当と判断する。また、関係課の連携により、保険税現年度分の収納率が0.46%増加したことや、家庭訪問での直接指導等により保険給付の適正化に努めたことなど、運営努力は評価できる。

持続可能な制度であり続けることを願い、当局には健康長寿の進展にさらに力を入れることを期待し、賛成する。

介護保険事業 特別会計決算

決算額は、歳入108億6225万2112円、歳出106億6220万3340円、歳入歳出差引額は2億4万8772円となり、このうち5388万3千円を介護給付費準備基金に積み立てました。

介護保険制度の適正かつ円滑な運営を図るため、特別養護老人ホーム等の施設サービスや通所介護等の居宅サービスの提供などにより、介護サービスの総合的な提供を進めました。介護サービス費等の保険給付費の総額は102億6834万円でした。

全会一致により認定。

水道事業会計決算

収益的収支（税抜き）は、収入額26億1899万1558円、支出額24億6865万7780円で、差し引き1億5033万3778円の純利益になりました。資本的収支（税込み）は、収入額6億5772万4414円、支出額14億7970万7263円で、不足額8億2198万284

9円は過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

安定した自己水量を確保するため、気子島水源と江口水源の二重ケーシング工事を施工したほか、老朽管の更新とあわせ耐震化工事を実施するなど、水道施設の整備、維持管理を行いました。

全会一致により認定。

病院事業会計決算

収益的収支（税抜き）は、収入額145億4486万5717円、支出額156億3070万7975円で、差し引き10億8584万2258円の純損失になりました。資本的収支（税込み）は、収入額12億9728万8624円、支出額21億6669万6813円で、不足額8億6940万8189円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填

9円は過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。



市立総合病院

しました。

一時閉棟していた7階東病棟をオープンし、各病棟の診療科再編を行ったことで、患者の皆さんにもわかりやすい病棟になりました。外来では診療ブースを増やす改修を行うことで外来初診までの待機時間の減少を図り、医療の質及び診療面での患者サービスの向上につなげました。

全会一致により認定。

一般議案を すべて可決

一般会計補正予算 (第2号) を可決

今回の補正は、歳入歳出予算の減額及び地方債の変更で、歳入歳出予算から2億8817万2千円を減額し、総額を620億8554万6千円とするものです。

主な内容は、ふるさと納税の寄附者の増加に伴う報償費等の追加、寄附金の増額に伴う津波対策事業基金積立金の追加などで、国の経済対策に伴う重複計上分などの収支調整を臨時財政対策債の減額により行うものです。

全会一致により可決。

委員会視察

各委員会は、所管する事項を調査するため先進都市へ行政視察を行いました。

- 総務委員会（8月5日～7日）
 - (1)シティプロモーション（広島県東広島市）
 - (2)防災対策／公共施設管理（岡山県倉敷市）
 - (3)地域コミュニティ（岡山県総社市）
- 民生教育委員会（8月28日）
 - (1)小中一貫教育（静岡県沼津市）
- 建設産業委員会（7月22日～24日）
 - (1)環境施策／観光振興（熊本県水俣市）
 - (2)中小企業振興／農業施策（熊本県合志市）
 - (3)企業誘致（佐賀県鳥栖市）
- 議会運営委員会（7月28日～29日）
 - (1)予算・決算の審査方法／議会改革・活性化の取り組み（愛知県豊田市・大阪府八尾市）
 - (2)常任委員会の所管事務調査（大阪府八尾市）
- 広報広聴委員会（8月20日～21日）
 - (1)広報広聴の取り組み（栃木県宇都宮市・千葉県船橋市）

議員研修会を開催しました

講演会 テーマ
「磐田市の人口成熟と
対処策」

講師
株式会社総合研究所
主席研究員 藻谷浩介氏



本市議会は、10月16日に議員の資質向上のため、議員研修会を開催しました。

今回は、講師に「ニッポンの正体」の著者、藻谷浩介氏をお招きし、「磐田市の人口成熟と対処策」について講演いただきました。

講演会では、磐田市の人口動態から見てくる問題点について説明され、高齢者が増え、現役世代が減少する本市の状況から、独自の高品質商品による外貨獲得、地域内でお金や遊休資産を循環させる仕組みづくり、省エネ・新エネルギーでのエネルギー削減により、地域活性化を図るべきであると話されました。

約2時間の講演に、参加者はメモを取るなど熱心に耳を傾けました。

— 市政を問う — 一般質問(要旨)

介護保険制度 福祉の諸課題

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員(二問一答)

介護保険

質問 家族の介護負担・介護難民・介護人材不足が深刻である。市の現状はどうか。

答弁 介護負担は軽減が図られ、介護難民と言われる事態はないと考える。介護人材不足も国の処遇改善の取り組みにより改善されていると理解するが動向を注視したい。

質問 特別養護老人ホーム待機者の現状と今後の対応策は。

答弁 27年1月1日現在の待機者の実人数は353人であるが、必要性の高い方は70人と把握している。今後も施設整備等により待機者の減少を図っていききたい。

質問 介護報酬引き下げは、事業所に厳しい内容である。実態調査をすべきではないか。

答弁 今後、国で実施する予定であり、情報収集に努める。

保育

質問 保育所入所の実態と今後の課題は。

答弁 27年4月1日現在の待機児童、ゼロを達成することができたが、年度末に向かうほど待機児童数は増加すると想定している。課題は、年度途中の入所希望の大半を占めるゼロ歳児から2

歳児までの受け入れ枠の拡充と考える。



保育の様子

質問 保育士の正規率向上への取り組みと運営の課題は。

答弁 施設再編による職員の効果的な配置を進めてきた。27年4月1日の正規率は、全体で43・2%である。課題は、児童数増加等に対応する職員の確保、適正規模での幼児教育環境の充実である。

質問 保育士確保と育成、非正規職員の待遇改善は。

答弁 年間を通して非正規職員の確保に努めている。待遇は、嘱託・臨時の給料・賃金の引き上げなど社会情勢に合わせ改善を図っている。

安全安心

質問 公共施設の防犯カメラ設置状況と今後の設置計画は。

答弁 行政施設で4施設、交通関連施設で8施設、教育施設で8施設、文化施設で6施設、体育施設や医療福祉施設

安全安心のまちづくり／外国人観光客誘致 耕作放棄地への健康増進作物の導入支援

志政会 高田正人 議員(二括質問)

などで10施設に設置している。今後は、磐田駅北口広場などを予定しており、管理上必要な施設には、順次設置したい。

質問 地域での子どもの見守り体制の現状と今後は。

答弁 自治会など多くの方々

外国人観光客誘致

質問 外国人観光客誘致の現状と課題、今後の取り組みは。

答弁 26年3月に外国語版観光ガイドブックを作成し、富士山静岡空港などに配架するとともに、中東遠5市1町の遠州観光ネットワークに参加し、誘致に取り組みしている。課題は、外国人の宿泊増が消費の伸びに至っていないことである。今後は、市内ホテルと連携し、外国人が宿泊する部屋へのチラシの配布や、観光協会ホームページの多言語化によるPRの強化とともに、広域での取り組みにも積極的にいかかわっていききたい。



外国語版観光ガイドブック

耕作放棄地

質問 耕作放棄地対策として、エゴマ、オリーブ、葉草栽培への支援や取り組みの考えは。

答弁 耕作放棄地を解消する場合には、農地再生の経費や苗代を補助しており、既に作目を限定しない支援を行っている。今後は、農業の活性化に寄与する可能性がある作目については、エゴマなどの健康関連作物も含め、市内外の取り組みを注目していきたい。

議会インターネット中継をご利用ください

市議会では、インターネットを通じて、本会議の生中継と録画中継を配信しています。ご自宅のパソコンで簡単に視聴できますので、ぜひご利用ください。

市議会のページ

(<http://www.iwata.shizuoka.jp/shigikai/>)



教育新時代に向かう方向と社会教育 学府一体校整備構想とまちづくり推進

志政会 絹村和弘 議員（二括質問）

教育新時代

質問 地方教育行政制度の改革、磐田市教育大綱の制定について、率直な思いを伺う。

答弁 従来より教育委員会と市長部局の連携は図られていて、総合教育会議を活用し、より一層の教育行政の推進を図りたい。教育大綱により、地域の子どもは地域で育てるといふ思いが多くの市民に伝わってほしい。

質問 国は第2期教育振興基本計画で、社会教育重視の政策を打ち出したが、見解は。

答弁 計画の基本的な方向と市の進める方向に違いはない。社会教育は、一生涯を通じた教育行政の根幹であり、大変重要と認識している。

質問 教育委員会から社会教育関係補助執行させることの再考について伺う。

答弁 市長部局で補助執行している現体制で問題はないと捉えているが、教育委員会への社会教育担当の設置も一つの考えであり、今後よりよ

い組織体制を研究したい。

学府一体校整備構想

質問 学府一体校整備構想とあわせ、その他の公共施設の配置等を考慮したまちづくりについて見解を伺う。

高齢者の健康増進 福田こども園施設整備

新磐田 加藤文重 議員（二括質問）

高齢者の健康増進

質問 60歳以降の早い段階で健康維持の気つきとなるよう市のスポーツ施設使用料を減免し、体力維持や健康づくりを目指す施策についての見解を伺う。

答弁 負担の公平性の観点から、現時点で減免の考えはないが、将来的にはいろいろな工夫が必要となると思うのでアンテナを高くしていきたいと考えている。

質問 健康増進や体力アップのため、各地域のシニアクラブやサロン等が行う活動を、

答弁 他施設との併設等は、地域とのつながりを深め、子どもたちの教育環境向上を図るために大変有効である。

質問 10カ所の学府一体校の場所が決まれば、その地域でコンパクトシティー計画に取り込むことができるか伺う。

答弁 市街化区域内でコンパクトシティーを目指す立地適正化計画を27年度より3カ年

市のスポーツ施設でイベント的に運用できないかと考えるが、見解を伺う。

答弁 スポーツは生涯にわたる心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものである。今後、指定管理者とともに、高齢者向けのイベントやサービスの提供について協議していきたい。

福田こども園

質問 福田こども園は遊具の数が少ないと感じている。今後、福田保育園や豊浜幼稚園、福田西南幼稚園、ひまわり幼稚園の各園からの遊具移設を

で策定している。その中で、一体校が都市機能誘致施設となり得るか、それを中心に居住誘導区域を設定できるかを視点を、検討したい。



含め、遊具増設の考えがあるのか伺う。

答弁 閉園する各幼稚園・保育園の既存遊具の移設、再利用を検討したが、老朽化が著しいことや高額な移設費、修

人材の活用 教育について

新磐田 松野正比呂 議員（二問一答）

人材の活用

質問 市民の公共活動に対する謝礼や有償ボランティアの考え方を伺う。

答弁 活動のさらなる活性化や参加者増の推進に必要であり、今後研究していく。

質問 市の相談機能について、相談員の専門職化や民間活用の考えを伺う。

繕費が必要となることなどから、遊具を新設することを選択した。園では教育・保育活動、自由遊び等で子どもたちが楽しく遊具等を使用し、現場からも園庭環境は充足していると聞いているので、現時



福田こども園

点で増設の考えはない。あえて遊具を多くしたり少なくなったりしたという意識はなく、皆さんの合意で現在の遊具数となった。

答弁 相談機能の充実が必要だが、専門職の早期採用は考えていない。また、地域包括支援センター等への委託により専門的な相談業務を実施しており、今後も、より専門的な支援につなげていきたい。

質問 市の臨時職員の人材育成と正規職員登用の考えは。

答弁 業務を通じた育成や通

信教育のあつせんを行つてい
る。公平性の観点から、積極
的に正規職員採用試験を受験
するよう周知している。

教育

【質問】 教育委員会の見える化
への取り組みについて伺う。

【答弁】 会議の公開や議事録の
公表に加え、ホームページで
教育委員の活動を周知してお
り、引き続き取り組んでいく。

【質問】 中学校における将来の
就職を踏まえた進路指導と高
校との連携について伺う。

【答弁】 高校教員による高校生
活の説明や模擬授業のほか、
夏季休業中に希望高校への体

験入学を行っている。また、
職場体験や大学等での体験学
習を実施する学校もある。

【質問】 中学生海外派遣事業の
成果と課題を伺う。

【答弁】 参加者の海外への関心
が高まり、本市の魅力が再確
認できたと聞いており、報告
会や意見交換会を通じて成果
の共有を図っている。参加し
たくてもで
きない生徒
も多く、参
加人数の見
直しや日程
の検討が必
要と考える。



中学生海外派遣事業

防潮堤整備事業
市南部地域

きずなの会 太田佳孝 議員（二問一答）

防潮堤

【質問】 竜洋海洋公園工区・太
田川河口工区の進捗状況は。

【答弁】 利用を予定した太田川
しゅんせつ土は水分が多いた
め、土質改良策の検討により
施工が遅れたが、9月中旬か
ら太田川しゅんせつ土や民間
から提供される土砂により、
工事に着手し、年度末までに
は遅れを取り戻したい。

【答弁】 津波に対する耐久力の
検証等は、中東遠4市の共通
課題である。技術的指針がな
く、市単独で行うことが困難
なため、静岡モデル推進検討
会で県に実施を要請している。

【質問】 今後の工程等の予定は。

【答弁】 9月中旬から竜洋海洋
公園工区・太田川河口工区に
28年度から保安林区域に着手
し、46年の全工区完成を目指
していきたい。

市南部地域

【質問】 津波を危惧し福田中学
校の立地を危ぶみ、同地区へ
の移転をちゅうちよする声を
聞く。学府一体校整備構想の
優先度は第一段階として豊田
中学校区、次に向陽中学校区
としているが、総合的な見地
から福田中学校の整備を優先
すべきと考える。見解を伺う。

【答弁】 福田地区では、津波に
対する不安を払拭すべく安全
対策を講じている。学府一体
校整備構想は、建物
経過年数、施設老朽
化のほか地域の実情
や学校規模など総合
的に判断し、福田中
学校区の整備は、第
二段階に位置づけて
いる。



防潮堤工事

【質問】 保安林における海岸防
潮堤の進捗状況は。

【答弁】 現在、県と盛り土の形
状や作業分担につい
て協議している。年
末までに工事に関す
る覚書を締結し、28
年度から着手したい。

【質問】 堤防の築堤に
おける波力に抗する
強度・耐久力は。

人口施策に伴うまちづくり
子どもが豊かな学校生活を送るために

新磐田 川崎和子 議員（一括質問）

まちづくり

【質問】 本市のコンパクトシテ
ィーの考え方を伺う。

【答弁】 策定予定の立地適正化
計画では、公共施設や医療、
福祉、商業施設などを核とし
た都市機能誘導区域を定め、
周辺に居住誘導区域を設定す
る。エリア間は公共交通機関
で結び、ネットワーク化する。

【質問】 自宅に戻ってきた介護
者の雇用が見つからず、貧困
世帯になっている事例を伺う。

【答弁】 同様の事例はないが、
高齢の親と不労の子の世帯
が親の年金収入等で暮らして
いて、先々に不安を覚えたり、
親が亡くなって生活困窮に陥
るケースが増えている。

【質問】 デマンドタクシーお助
け号の総括と利便性向
上策は。

【答弁】 バス、タクシー
に次ぐ交通手段として、
高齢者などの交通弱者
に定着しつつある。地
区枠の拡大などの見直
しは現時点では難しい

【質問】 交流センターつきの乗
り合いバス設置の考えは。

【答弁】 お助け号の導入により、
高齢者の日常生活における移
動手段は確保されると考えて
おり、現段階では乗り合いバ
スを設置する考えはない。

学校生活

【質問】 洋式トイレの普及状況
と臭気対策を伺う。

【答弁】 整備率は27年8月現在、
小学校で30%である。学校の
要望を聞く中で洋式化を検討
したい。臭気対策は、尿石の
除去や排水管の取りかえなど、
衛生環境の改善に努めていく。

【質問】 給食方式の方向性は。

【答弁】 新たな給食セ
ンターの建設も考え
ていたが、小中一体
校に調理場を設ける
ことや、幼保再編計
画等も視野に入れ、
方向性を検討してい
きたい。



デマンドタクシーお助け号

人口減少等の課題に向けた行政の展開 安心・安全のまちづくり

公明党磐田 小野泰弘 議員（二括質問）

課題への行政展開

質問 給付型子育て支援として学校給食費の助成はどうか。

答弁 全国的にはさまざまな方法で助成している自治体がある。今後、実施状況や効果等を研究していきたい。

質問 元気な高齢者が地方に移住し、地域づくりの担い手になってもらうとともに、見守りなどのサービスを提供する日本版CCRCの検討は。

答弁 人口減少に歯止めをかけるため、まずは首都圏に出て行った若者や子育て世代に対する諸施策を進めていくことが最優先課題と考えており、現時点で導入する予定はない。

質問 学府一体校の普通教室エアコン設置の考え方を伺う。

答弁 運用等を考え研究する。

安心・安全

質問 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の簡易診断の考えは。

答弁 現在、国の基準に従い肺がん検診を実施しており、現時点でCOPDに係る簡易診断を導入する考えはないが、

世界禁煙デー等にあわせ、COPDの啓発活動を推進する。

質問 人生の終幕に備え葬儀や納骨、終末期医療の希望など、生前から相談に応じる終活支援の考えはあるか。

地震・津波・防災対策 磐田市の諸課題

志政会 岡

實 議員（二問一答）

防災対策

質問 同報無線のデジタル化に向けた全体計画の概要等は。

答弁 34年11月までに切りかえるよう準備を進めていく。

現在、実施設計により手法や事業費を検討しており、28年度から屋外子局のデジタル化工事に着手する予定である。

質問 各世帯への端末機の設置は。

答弁 現在の防災行政ラジオの代替案も含め検討中だが、明確な方針は決定していない。

諸課題

質問 教育の情報化ビジョン

答弁 現状では、

地域包括支援センターの総合相談の中で終活支援を含めた民間サービスの情報提供をしている。今後も終活に関する相談状況など、情報収集に努めていく。

質問 使用済みスプレー缶や



地域包括支援センターでの相談の様子

カセットボンベを、家庭で穴をあけないまま回収する方式へ切りかえる検討はあるか。

答弁 事故も報道されており、市民に安心して排出していただける方法の検討が必要である。今後、先進自治体の調査を初め、回収業者や中間処理業者と情報交換を行っていく。

ている。

質問 電子黒板とタブレット端末の導入は。

答弁 電子黒板はモニター型を各学校に1台整備し、27年度は中学校10校にプロジェクト

指定管理者制度

新磐田 虫生時彦 議員（二括質問）

質問 現在、公の施設の管理・運営を14の指定管理者に委ねている。改善指導の内容と改善後の報告を評価結果に記載し、市民に報告すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 指摘事項が、どのように改善されたかは、重要と考える。改善結果が、市民にわかるよう公表していきたい。

ター型を整備予定である。タブレットは、18校にクラス数分を整備しており、今後、導入されていない学校にクラス数分の整備を目指していく。

質問 教育の情報化の進展とデジタルデバイドは。

答弁 国や県等の動向を注視し、中学校卒業時に情報格差が生じないようにICT機器整備を進めていきたい。

質問 障害者就労施設からの物品等の優先調達は今後は。

答弁 実績は伸び悩んでいる。優先調達物品の即売会を新たに実施するなど、さまざまな取り組みを進め、優先調達率の向上につなげていきたい。

質問 指定管理者選定等委員会は、透明性と平等の観点から公開とし、市民等が傍聴できるようにすべきと考えるが見解を伺う。

答弁 委員会では、指定管理者や応募団体の持つノウハウ、団体の財務状況など、通常は公開されない情報が審議されること、委員会における率直

と全体の進捗状況は。

答弁 授業でのICT機器の活用、校務の情報化を進め、児童・生徒の情報活用能力の育成を図りたい。22年の学習指導要領改訂から短期的にはコンピューター室、特別教室、校務用パソコン及び無線LANの整備を終えている。中

長期的には、タブレット端末の導入整備を考慮



電子黒板を使った授業の様子

学府一体校整備構想

質問 小中一貫教育が教職員の多忙化につながっていると考えますが、見解は。

答弁 小中一貫教育コーディネーターが学校間の連絡・調整をし、多忙化の解消と打ち合わせの時間を確保している。

質問 全市での施設一体校の教育という前例のない取り組みを行う理由は。

答弁 これまでの小中一貫教育の成果から、教育効果が高められると考える。また、広い地域でのコミュニティのつながりも視野に入れている。本市ならではの学府一体校を目指し、子どものために新時代の新たな学校づくりに挑戦するものである。

質問 全学府の小中一体校で4・3・2制等の教育課程の

磐田市学府一体校整備構想 市民サービスの充実

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員（二問一答）

な意見の確保を図ることから、今後も非公開としていきたい。

質問 利用者から直接寄せられる意見・要望・苦情等は、指定管理者が施設の管理・運営を行っていく上で大切なものと考えている。サービス向上に向け「利用者意見箱」を全施設に常時設置し、結果を所管課及び市民に報告すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 利用されている市民の意見をいつでも聞く体制や、市民が気軽に意見を述べる体制をつくることは大切なことと考える。意見箱の設置場所が確保できる施設には設置し

ていきたい。さらに寄せられた意見は、市と指定管理者が共有し、対応していきたい。

質問 指定管理者制度のあり方等の見直しを行う考えがあるか、見解を伺う。

答弁 指定管理者の更新時には、施設ごとに管理のあり方について検証している。今後、施設ごとの目的やサービスの状況などを踏まえて、管理に断し、直営も含め適切な方法で管理していきたい。



質問 墓地使用料不還付の見直しの具体的検討は。

答弁 使用料還付見直しのため、27年11月議会に条例改正案を上程する予定である。

質問 ユニータ地を活用した市民サービス充実等の検討は。

答弁 地元商店主や民間事業者との連携を模索し、引き続き、にぎわいづくりの一助となる活用策を検討していく。

市民サービス

弾力化を行うのか。

答弁 6年生のリーダー性や発達段階等も踏まえ、本市にあった学年区分を検討する。

質問 一方的な統廃合につながる学府一体校は問題があるかと考えるが、見解は。

答弁 この構想は、新たな学校・地域づくりを考えたものであり、統廃合を目的としたものではない。子どもたちの教育環境の充実に考え、保護者、教職員、地域の方々とともに一緒に上げていきたい。



質問 早期に消防団員維持を図る具体策が必要と考えるが、見解は。

答弁 団員の処遇改善のため、県消防学校の専門的研修にかかる経費の確保や退職報償金の引き上げを行い、27年度からは新たに消防団家族感謝事業を創設した。団員定数の維持には、消防団員OBの活用や女性の加入促進等のほか、地域の理解と連携をより一層深める努力が必要と考える。

質問 大規模な火災に対する消防本部と消防団との円滑な連携について伺う。

答弁 毎年、消防署、分遣所と各方面隊が災害事象に応じた合同訓練を実施し、互いの役割について確認している。

質問 デジタル無線配備後の中遠地区広域応援のあり方は。

答弁 27年度に配備されるデジタル無線機は、



中遠地域全ての消防車両に積載され、同じチャンネルの使用が可能ことから、警周支部3団による広域応援訓練を実施する予定である。

質問 消防本部、消防団、自主防災組織、小中学校などが連携した防災教育の取り組みの強化など、総合的な防災力を高める必要があると考えるが、市の考えを伺う。

答弁 学校では防災訓練及び防災教育のほか、地域の防災訓練への参加を促進している。自治会連合会では防災対策アクションプログラムを策定し、各機関との連携による地域の実情に合った防災訓練を実施している。水防演習や土砂災害訓練では、消防署や消防団が住民の避難誘導等を行っている。地域防災訓練では、訓練の企画段階から各機関が参画し、連携や課題を確認しながら、各地域の実情に沿った訓練に取り組んでいる。

安心・安全なまちづくり

志政会 細谷修司 議員（一括質問）

交流センターを活用した地域活性化 子育て支援

新磐田 芥川栄人 議員（二問一答）

地域活性化

質問 交流センターの現状と今後のあり方について伺う。

答弁 これまで大きな問題もなく円滑に運営されている。地域組織や活動のあり方など少しづつ課題も見えてきたので、地域の実情に合った対応を心がけたい。今後は、地域と行政をつなぐパイプ役となるような施設にしていきたい。



質問 地域づくり協議会のモデル地域をつくり、波及効果を狙う考えは。

子育て支援

質問 どの子でもチャレンジができる機会を与える考えは。

答弁 ジュビロマラソンのボランティアなど学校や地域の

縛りなく、どの子でも参加できる公募型の事業に取り組んでいる。さらに多くの子どもたちが活躍の場を得られるよう、機会の充実や募集方法の工夫をしていきたい。

原 発 合併の検証

日本共産党磐田市議員 稲垣あや子 議員（二問一答）

原 発

質問 川内原発が再稼働したが、浜岡原発から31キロ圏内にある本市も他人ごとではない。見解を伺う。

答弁 市民の安全・安心が確実に担保されない限り、浜岡原発の再稼働には賛成できない。川内原発の再稼働は、地元の判断に本市が意見することではないと考える。

質問 本市の原子力災害対策の災害弱者避難計画を伺う。

答弁 災害弱者の避難は、避難先施設や交通手段の確保など特段の配慮が必要であり、

質問 公募により「子ども記者」を設置してはどうか。

答弁 市の取り組みを子どもたちの視点で捉え、伝えてもらう手段として、子ども記者がよいのか、広報媒体を含め、今後検討していきたい。

質問 生活困窮世帯の子どもが夏痩せすることだが、現状と対策は。

答弁 そうした児童は確認し

市単独での対応は非常に難しいことから、国・県と連携し検討する。

質問 浜岡原発の廃炉を求めるときと考えるが、見解は。

答弁 国による福島原発の検証がはつきりした上で、国が判断すべきものと考えている。

合併の検証

質問 行財政改革における人件費の削減について伺う。

答弁 17年度と26年度の決算の比較で約17億8600万円の削減、うち支分は約5億8600万円の削減となった。定員適正化計画に基づき適正

ていないが、心配される家庭もある中で、関係機関等と連携し見守っている。十分な食事が確保できない家庭には、社協で食糧支援を行っている。

質問 こども憲章をどのように活用していくのか伺う。

答弁 子どもたちの生の声を載せたカレンダーの配布等により、市全体で取り組んでいくよう進めていきたい。

に管理できたと考えている。

質問 地域審議会の実績と市政懇談会での意見を伺う。

答弁 地域審議会では、新市まちづくり計画の進捗状況などを審議した。市政懇談会は、

市政を地域に伝えるとともに、地域の意見等を聞く貴重な機会である。施策への反映が可能な意見は、全体のバランスを踏まえ、取り組んでいく。



市政懇談会の様子

健康マイレージ制度 介護を必要とする人・介護支援者対策

きまなの会 八木正弘 議員（二括質問）

健康マイレージ制度

質問 県内における制度の実施状況を伺う。

答弁 27年度に取り組んでいるのは、県内35市町中16市8町である。

質問 磐田市健康づくり推進協議会での協議・検証は。

答弁 25年10月の協議会で、委員に健康マイレージ事業の

質問 合併に関する住民アンケートを実施すべきでは。

答弁 実施予定はないが、第2次総合計画策定に向けた市民意識調査の中で、本市で実施してきた取り組みへの評価の設問を盛り込んでいる。

概要及び近隣市町の状況を説明した上で、協議した結果、今後、実施する価値があるかと判断した場合に、改めて協議会で議論することとなった。

質問 参加者が特定の人に偏らないよう、「磐田版」を実施する考えはないか伺う。

答弁 27年度より保健師等が積極的に地域に出向いて、運

動等の習慣づけを初め、さまざまな指導を推進しているため、現在のところ制度の導入は考えていない。

介護支援

【質問】市立総合病院に自立動作支援ロボットを導入する考えはあるか。

【答弁】このロボットは主に回復期で効果を発揮するものであり、急性期病院である当病院への導入は、現在のところ考えていない。

【質問】介護支援者用ロボットを病院など重労働な部署に試験導入し、研究してはどうか。

【答弁】急性期病院である当病

院では使用機会も少なく、装着に大変時間を要し、現状の業務に即していないため、現在のところ導入する考えはない。他の部署での活用も、現時点でその考えはない。

【質問】介護支援者用装着ロボットの補助事業の検討を。

【答弁】介護

支援者の負担軽減は重要な課題と認識しているが、普及

が始まったばかりの段階であるため、今後の普及状況等を注視したい。



市民の活動による地域の活性化
福田漁港エリアの活性化

志政会 草地博昭 議員（一括質問）

市民の活動

【質問】中学生ボランティア、ヤング草莽塾、成人式の参加者等を、将来の「活動する市民」につなげる考えは。

【答弁】将来の活動する市民につなげることは必要と考える。活動事例紹介等の情報提供や市民活動体験講座の開催などを実施していきたい。若者たちを巻き込みながら、次の時

代の人材的な基礎もつくっていききたい。

【質問】地域づくり協議会や自治会等の「協働のまちづくり」への位置づけを伺う。

【答弁】市民活動団体として、市民に活動の場を提供し、協働のまちづくりに誘い、まとめていくことが役割と考える。【質問】市民の活動団体への初期支援の取り組みを伺う。

【答弁】団体立ち上げを含むさまざまな相談や講座により支援しているが、人材や資金不足等、団体の自立に至るまでの支援は難しい。

福田漁港エリア

【質問】（仮称）海辺の交流館の基本コンセプトは。

【答弁】海辺の食とレジャーを生かした魅力発信基地である。

【質問】（仮称）海辺の交流館と渚の交番の運営方法は。

【答弁】当分の間は、海辺の交流館運営協議会の意見を参考にし、市が直接運営する予定だが、管理業務等の一部は委託を考えている。将来的には実績等を見て、指定管理者制度への移行を検討していく。

【質問】福田漁港エリアの目指す未来像について伺う。

【答弁】食や自然環境を生かして、交流人口の増加に取り組む、沿岸部から産業振興と地域活性化を少しでも図っていききたい。27年度が分岐点であったと言われるよう頑張りたい。



（仮称）海辺の交流館イメージ図

議会報告会を開催しました

市議会は、議会報告会を10月31日（土）に市役所本庁舎大会議室で開催しました。

この報告会は、24年6月に制定した議会基本条例に基づき実施するもので、今年度で4回目となりました。

今回は、常任委員会ごとにテーマをかえて計3回開催し、合計69人の皆様にご参加いただきました。

報告会では、26年度決算や各委員会における主要課題について報告を行いました。参加者の皆様との意見交換では、防潮堤建設工事の進捗状況、学府一体校整備構想、台風や大雨時における河川対策についてなど、幅広い分野で多くのご質問、ご意見をいただきました。なお、報告会でお寄せいただいたご意見やアンケート結果等は、今後の議会だより等でお知らせする予定です。

議会からの報告事項

- 26年度決算報告
- 総務委員会報告
 - 市民文化会館
 - 大規模災害にどう備えるか
- 民生教育委員会報告
 - 小中一貫教育
 - 地域包括ケアシステム
- 建設産業委員会報告
 - 台風等大雨豪雨対策の取り組み
 - 地域経済活性化対策



総務委員会報告



民生教育委員会報告



建設産業委員会報告

市議会へのご意見お待ちしています

磐田市議会は、市民の皆様の声をお聞きする「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しました。お気軽に市議会に対するご意見、ご要望をお寄せください。

また、議会のホームページにあるメールフォームでもご意見を受け付けておりますので、ご利用ください。



市議会へのご意見お待ちしています。



「いいね!」
お願いします。

市議会Facebookはじめました

磐田市議会は、市議会をより身近に感じていただくため、Facebookページを開設しました。本会議や委員会の開催状況のほか、市議会の情報を発信してまいります。ぜひ、ご覧ください。

下記URLまたは右のQRコードよりアクセスできます。

<https://www.facebook.com/iwata.gikai>



審 議 結 果

■全会一致により可決・認定された議案

- (1) 市議会会議規則の一部改正
- (2) 27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- (3) " 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- (4) 26年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- (5) " 病院事業会計資本剰余金の処分
- (6) " 磐田市内1組合公平委員会特別会計歳入歳出決算
- (7) " 駐車場事業特別会計歳入歳出決算
- (8) " 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- (9) " 介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- (10) " 広瀬財産区特別会計歳入歳出決算
- (11) " 岩室財産区特別会計歳入歳出決算
- (12) " 虫生財産区特別会計歳入歳出決算
- (13) " 万瀬財産区特別会計歳入歳出決算
- (14) " 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- (15) " 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- (16) " 水道事業会計決算
- (17) " 病院事業会計決算
- (18) 27年度一般会計補正予算(第2号)
- (19) " 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

- (20) 市道の路線認定
- (21) 市道の路線変更

■賛成多数により認定された議案

- (1) 26年度一般会計歳入歳出決算
- (2) " 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- ※ これらの議案は討論が行われました。表決結果はいずれも次のとおりです。
賛成21(志・新・き・公)、反対3(共)

■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 決算特別委員会の設置・付託、委員の選任
- (2) 閉会中の継続調査
- (3) 市議会議員の派遣

会派名の表記(人数) ※27年10月13日現在
 「志」志政会(10)、「新」新磐田(7)、
 「共」日本共産党磐田市議団(3)、
 「き」きずなの会(3)、「公」公明党磐田(2)
 (注)議長は採決に加われません。

政治家の年賀状は禁止されています

公職選挙法により、議員は選挙区内の人に対して、年賀状などのあいさつ状(答礼として自筆によるものを除く)を出すことが禁止されています。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。

10月31日に議会報告会を開催しました。今回は、常任委員会のテーマごとに時間帯をかえて開催しましたが、いかがだったでしょうか。当日いただいた貴重な意見や要望は、今後の議会活動に生かしていきます。

今後も、市民の皆様にとって、より身近な市議会となるよう努めます。

編集後記

11月定例会の予定

—11月27日～12月21日(25日間)—

- 11月27日 本会議(議案の上程、説明)
- 12月 4日 本会議(先議採決・代表質問)
- 7日 本会議(代表質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(議案に対する質疑)
予算委員会
- 10日 分科会・常任委員会
- 11日 分科会・常任委員会
- 14日 分科会・常任委員会(審査予備日)
- 17日 予算委員会
- 21日 本会議(議案の採決)

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。また、聴覚障害者の皆様の議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。